

くりやまちょうPR隊

- ✓ ふるさと納税、観光振興、移住定住推進、それぞれの共通の課題であり、将来的な外部委託等を想定していたプロモーション業務を担う人材として、隊員5名を採用（2015年4月）。活動にあたっては自主事業として町の交流人口拡大や認知度向上を図る取り組みも進めた。



ふるさと納税

- ①寄附数増につながる活動
- ②返礼品事業者との連携強化
- ③受付・発注等業務支援



観光・特産品PR

- ①特産品の販売促進・PR
- ②観光振興事業



若者定住・移住

- ①プロモーション事業支援
- ②移住促進事業
- ③人材育成プログラム調査研究



交流人口拡大、認知度向上

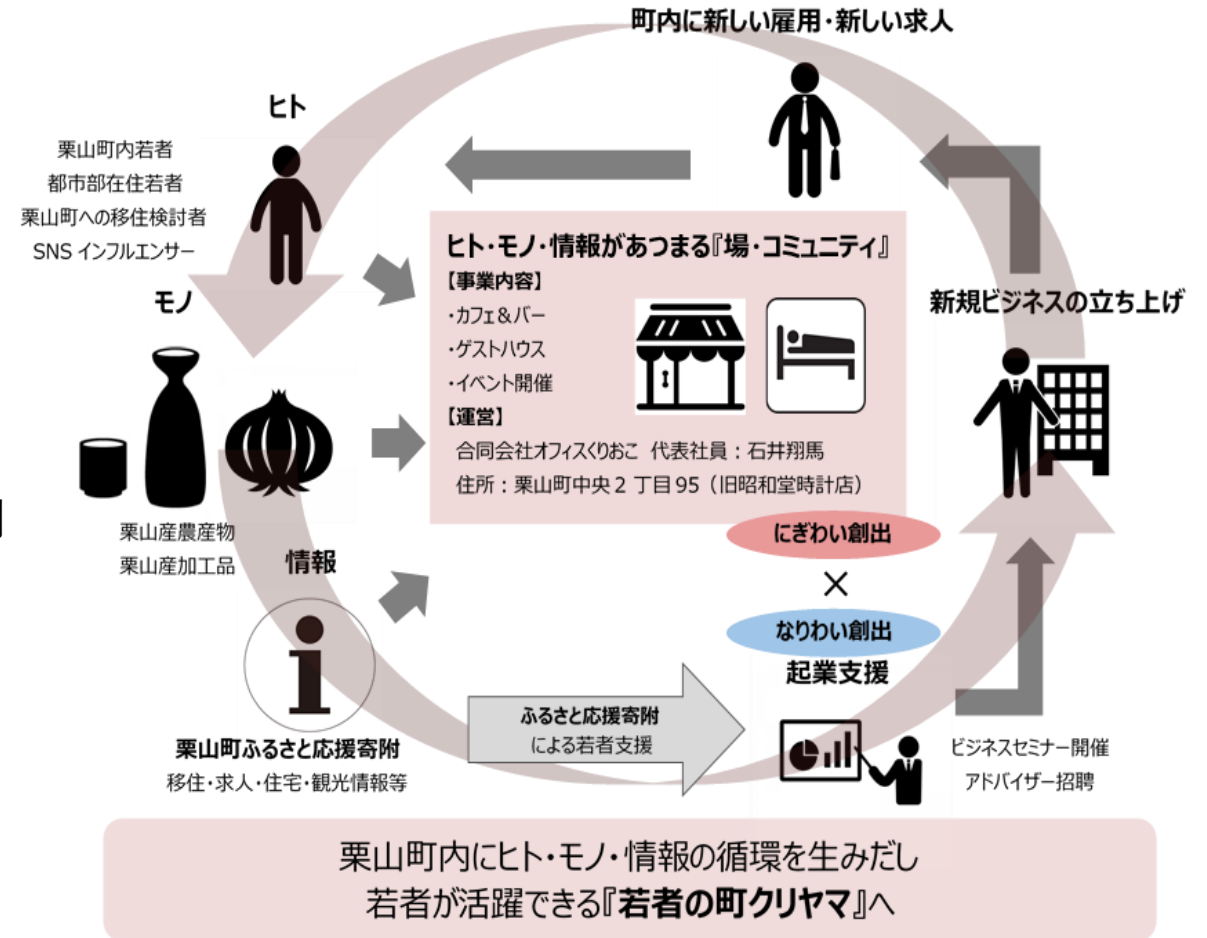
- ①活動コンセプト・ビジョン策定
- ②地域活動参加(コミュニティ形成)
- ③起業に向けた準備・自立化 など

外部委託・移管を想定している行政事務

隊員自ら進める自主事務

くりやまちょうPR隊

- ✓ 活動開始から数か月経過後、各課の担当業務の進め方や、任期終了後に向けた将来像などについて職員との齟齬があり、協議を重ねた結果、隊員自ら任期満了後の定住を見据え、ふるさと納税業務等の受託のほか、隊員自らが生業をつくるため起業を前提として活動することで合意。これに伴い3課に配属した隊員を1課にまとめ、活動拠点として町有住宅を事務所として用意することとした。
- ✓ 2年目には、総務省地域力創造アドバイザーを活用し、福岡市内で学びの場やコミュニティ創出の拠点ともなっているカフェ＆バー「TAO」を営んでいる林田暢明氏を起業アドバイザーとして招聘し、ビジネスプランづくりに着手。
- ✓ 町内外の若者が集う拠点としてカフェ＆バーとゲストハウスの開業を目指すプランを完成させた。



くりやまちょうPR隊

- ✓ 1年目に1名、2年目に2名が自己都合により任期を終えることとなり、残る2名で起業に向けた準備を進めていたが、想定している事業を確実に遂行するため、新たに2名の隊員の募集を行い、3年目となる2018(平成30)年度から加えた（新規隊員は研修等を兼ねて起業する会社へ出向）。
- ✓ 3年目を迎えた隊員2名は、2018(平成30)年4月に「合同会社オフィスくりおこ」を設立。カフェ＆バーとゲストハウスの開店に向け、商店街近隣店舗をはじめ町内関係者・団体への説明と協力依頼、店舗の改修設計やリノベーション(町民参加型DIY)、テスト販売、資金調達(※)などを進め、同年11月に地域密着型飲食店「café&barくりとくら」、翌年10月に宿泊滞在施設「ゲストハウスくりとまる」をオープンした。

※資金調達では「栗山町地域おこし協力隊起業支援補助金」を活用し、ふるさと納税によるガバメントクラウドファンディングを実施



くりやまちょうPR隊

- ✓ 起業した隊員2名の任期終了後の2019(令和元)年度からは、ふるさと納税業務をはじめ、地域おこし協力隊募集・育成支援業務、商店街活性化支援や観光振興支援に関する業務など、行政からの委託事業を受託しているほか、自社でも様々な地域振興事業などを行い、地域商社として展開している。
- ✓ 新規隊員2名は、2020(令和2)年7月に栗山産品ECサイト「Chestnuts&Market」を立ち上げ、任期終了後の令和3年度からは合同会社オフィスくりおこに入社し、前項の各種事業にも携わっている。
- ✓ 2013(令和5)年5月、新たな関連会社「くりやまクラフト」を創業しクラフトビール製造を開始。栗山町産の日本酒やホップを使用し、2025(令和7年)春から販売を開始した。飲食店の屋号も「beer&barくりとくら」に改称。

